

感染性医療廃棄物の無害化・減容減量化装置 「ステリウエイブ」を町田予防衛生研究所に導入

株式会社 G S I クレオス（東京都港区／代表取締役 社長執行役員 CEO 吉永 直明、以下 当社）のグループ会社である株式会社セントラル科学貿易（東京都江東区／代表取締役社長 杉本 静子、以下 セントラル科学貿易）が扱う、感染性医療廃棄物の無害化・減容減量化装置「ステリウエイブ（STERILWAVE）」が、このたび町田予防衛生研究所（東京都町田市／代表取締役 二階堂 哲也）に採用され、2026 年 9 月 14 日に導入されました。今回の導入は、国内の検査センターにおける「ステリウエイブ」の初の導入事例です。研究所で常時排出される感染性医療廃棄物の処理に加え、災害等の緊急時における地域の廃棄物処理体制の強化も目的としています。セントラル科学貿易は、今後も医療機関や自治体、検査施設等への本装置の導入を進めてまいります。

【本導入の背景と狙い】

血液や体液などが付着し感染リスクを伴う感染性医療廃棄物は、厳重な管理が義務付けられ、日本の医療機関では専門業者による収集・運搬や焼却処理など、徹底した管理のもとで廃棄処理が行われています。近年では、一連の処理に係るコストの上昇や焼却に伴う環境負荷などが課題となっています。セントラル科学貿易ではこうした状況を踏まえ、フランスの STERILWAVE 社が開発した“医療廃棄物の施設内処理を可能とし、処理コストや環境負荷などの課題の解決に貢献する”

町田予防衛生研究所に設置された「ステリウエイブ」



感染性医療廃棄物処理装置「ステリウエイブ」の国内展開を進めています。2026 年 6 月には医療機関である社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院（長野県松本市）にて実証実験を実施し、医療現場における運用面での検証を行いました。また、検査・研究施設での活用を広げる取り組みとして、町田予防衛生研究所に「ステリウエイブ」を提案し、このたび国内検査センターでは初となる導入が決定いたしました。町田予防衛生研究所では、施設内で発生する感染性医療廃棄物の処理だけでなく、非常時には地域の廃棄物処理手段として本装置を活用していく方針です。大規模災害時など、焼却炉等の廃棄物処理インフラが利用困難な状況でも、感染性医療廃棄物やおむつ等を現地で適切に処理できるため、二次災害の防止や地域の安心・安全の維持に貢献することができます。

【「ステリウエイブ」について】

「ステリウエイブ」は、感染性医療廃棄物を装置内で粉碎・滅菌することで、廃棄物を無害化するとともに減容減量化することができる廃棄物処理装置です。プラスチック製のカテーテル、

金属製のメスやはさみ、紙製のおむつやマスク、ガラス製のシャーレや試験管など、材質の異なる医療廃棄物を分別せずに投入し、処理することができます。また、本装置は全 5 機種 of ラインナップとなっており、最大モデルでは 1 時間あたり最大 150kg の廃棄物の処理が可能です。処理後に残る残渣は、元の廃棄物と比較して容積を最大約 80%、重量を約 25% 削減することができます。加熱処理により感染性をなくすことで廃棄物処理における取り扱い負担を軽減するとともに、廃棄物量の削減による処理コスト低減や環境負荷低減への貢献が期待されます。

セントラル科学貿易は、本装置の輸入代理店として、国内の医療機関への導入を進めています。

【今後の展開】

今後は医療機関および検査・研究施設への導入拡大を進め、感染性廃棄物の処理負担軽減や安定的な処理体制の構築に貢献してまいります。また、大規模災害等により既存の廃棄物処理インフラが停止した場合でも運用できる、非常時向けの廃棄物処理手段として、自治体への提案も進めてまいります。さらに、処理後に発生する残渣についての成分分析を進め、資源循環に向けたリサイクル用途の可能性を検討していきます。残渣の性状に応じて、例えばプラスチック成分を主体とする場合には油化による再資源化、金属やガラス成分を含む場合には成分に応じた再資源化や助燃材としての活用など、適切なリサイクル方法の確立を目指します。

当社およびセントラル科学貿易は、今後も医療・検査・研究分野における新たなソリューションの提供を通じて、環境負荷低減や資源循環型社会の実現に貢献してまいります。

以上

【セントラル科学貿易について】

セントラル科学貿易は、G S I クレオスグループの理化学機器専門商社です。「確かな技術を世界から」という企業理念のもと、世界トップレベルの研究・検査・理化学・環境関連機器を、国内のユーザー様が安心してご利用頂ける製品としてお届けしています。

科学の進歩とともに多様化する皆さまのニーズにお応えできるよう、時代が求める最適な製品を積極的に提供してまいります。

【G S I クレオスについて】

G S I クレオスは、国内に 9、海外に 27 の事業拠点をもち、“繊維”と“工業製品”の両事業をグローバルに展開する事業創造型商社です。繊維原料から、生地、アパレル製品、化学品、ホビー商材、機械、半導体部材、ナノテクノロジーまで、国内外のネットワークを駆使して幅広く事業を展開しています。

「次代の生活品質を高める 事業の創造者として 人びとの幸せを実現する」というパーパス（存在意義）のもと、ESG 経営を推進し、「環境」「生活・健康」「エネルギー」の分野で新たな価値を創出しながら、社会課題の解決と人びとの幸せの実現を目指しています。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社 G S I クレオス 経営企画部 企画広報課 03-5418-2122